WRI News Letter　No. 83
1979.4.22.
戦争抵抗者インター日本部　大阪市あべの区旭町2-12-2 ウリ大阪内

男たちも集まれ！

4。28反原発。女たちの大デモ

会場。南天満公園（谷町線地下鉄〈天満橋〉下車、天満橋を渡った左岸）
PM1〜3・バザー。街頭劇。唄。おどり。一分間アピール。PM3すぎ　デモ出発。

いま、欧米の反原発運動は、何よりも女たちを不可欠の運動者として、その主力であり中心にある大きな力として、展開されている。

それはまた男たちにとって、いままで包摂しえなかった、世界の半分の人々―女たちと共に闘う大きな戦線が、厂史上ではじめて出現しつつある、ということだ。―というよりは、むしろ既往過去のすべての運動にあった男的な発想、男社会の構造をそのまま引継いだ組織のあり方、権力主義や政治主義のひとつひとつが、改めて点検され正されながら、はじめておんなとおとこが一つになった新しい質の運動が、反原発として現われてきた―ことにほかならない。

いままでの、男が中心になり呼びかける運動は、ともすれば女、子供、老人、障害者を弱者として、常に従属させ、ときには切り捨ててかえりみないものだった。だが、この4・28・反原発・女たちの大デモに、その主体者として立上った女たちは、いままではせいぜい後衛とか、セメントの砂的な意味しかもちえなかった人たちこそが、主役となり先駆となるようなーそれこそ参加者それぞれの立場や条件、そしてむしろ弱点さえも武器として引き出し、百人百様の創造力と自由な連合をこそ「力」とするものであると、呼びかけ、男たちも仲間として参加し、主体的に共同することを待っている。それはまた、そのよびかけに応えることで、私ら男たちが、おんなと共の、自らの新しい運動をつくり出すという意味である。

いま、女たちは、新しい厂史をつくり出そうとしている。―それをあまりに大げさな、と云うならば―　私たち、それこそ世界の半分を占める男たちが―女たちと共に手をたずさえ

宇利乃奈加万乃　安以古止場

唄天尓乃里越

ウリニエースレター毎号よむ方は、宛名記入20円切手貼付の送付用封筒5~6枚（カンパは任意）をお送り下さい。

て、「女たちの厂史」に加わるかどうか、が、その動向を大きくゆるがす、と云ってもよい。……

男たち。4・28反原発、女たちの大デモにあつまれ！、男たちもまたデモの隊列をつくり、あるいは女たちのビラまきを手伝い、荷物をはこび、共に同じシュプレヒコールの声を高らかにあげよう。…

おそらくこのデモは、日本全土にさきがけて、大阪で行われる（そして海外諸国はしらず、まだ日本では大阪だけがここ一年来につちかってきたことによって可能性をもつ）最初の記念すべき新しいデモのかたちをつくりだすだろう。再び、男たち。集まれ。その仕事場や男の用件を放棄して、断じて、このデモのために集り献身せよ！ 四月二八日午后一時！ 南天満公園に君はくるか！

発起よびかけ。原関連有志　（文責 向井孝）

○〈女たちの大デモ〉については、同封のビラ、又は06-581-四〇八九にお問合せ下さい。

アメリカの原発事故は、私たちに教えてくれた！
逃げるよりも速く 死の灰が降りかかることを！
原子力委・電力会社の云う安全神話のもろさを！
原発の存在を許すかぎり、私達に未来はない！
私たちの安全は、私たち自身で守らなければ！
いまこそ、原発停止、原発建設中止の声を！

講演 スリーマイル島原発事故の真相をあばく

講師　久米三四郎（阪大）小出裕章（京大）

とき　四月二七日（金）午后6~9時厳守

ところ　部落解放センター大ホール（芦原橋下車）

いますぐ原発を停めろ

関西大集会

カンパ300円

今号はビラ代りとしてつくりました。ご了承下さい。

知ってますか！25年前には…

〈毎日新聞一九五四年七月二日付記事抄出〉

⊙…原子力を潜在電力として考えると、まったくとてつもないものである。しかも石炭など資源が今後地球上から次才に少なくなっていくことを思えば…このエネルギーのもつ威力は、人類生存に不可欠なものといってよいだろう。……

⊙…電気料金は二〇〇〇分の一になるだろう。…

⊙ 原子力発電所は、火力…のように大工場も必要としない。大煙突も貯炭場もいらない。密閉式のガス・タービンが利用できれば、ボイラーの水すらいらないのである。もちろん山間へき地を選ぶこともない。ビルディングの地下室が発電所ということになる。…

※参考　一九五四年は原子力の平和利用と銘うって、はじめて政府が予算を計上した。当初、政府も学者もそんな認識から出発したのである。

送金は振替、大阪三三七三七　ウリジャパン 向井孝